

# 16 タイル下地モルタルひび割れ補修(張替えUカットシーリング工法)

タイル表面からのひび割れが躯体に達し、ひび割れ幅1.0mm以上の挙動ひび割れの補修

施工手順

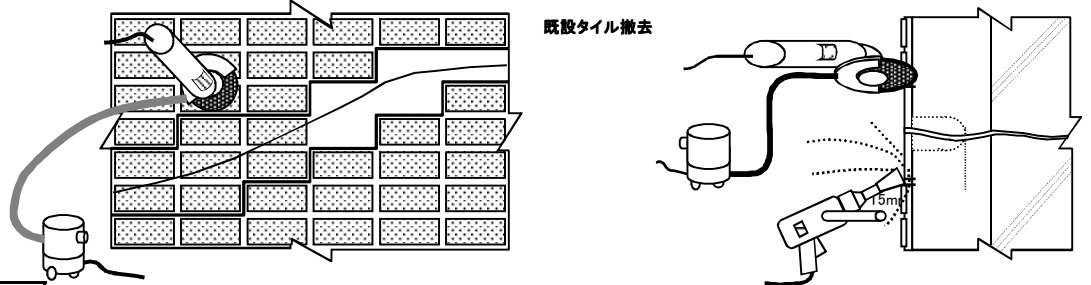
施工方法

## 補修範囲の確認

- ・ひび割れ部分を打診しながら劣化範囲を確認してクラックスケールで検測し、ひび割れに沿ってマーキングし補修範囲を確定する。
- (復旧タイルの在庫確認及び張替部分の色変わりについて監督官の確認し、指示に従い作業を開始する。)

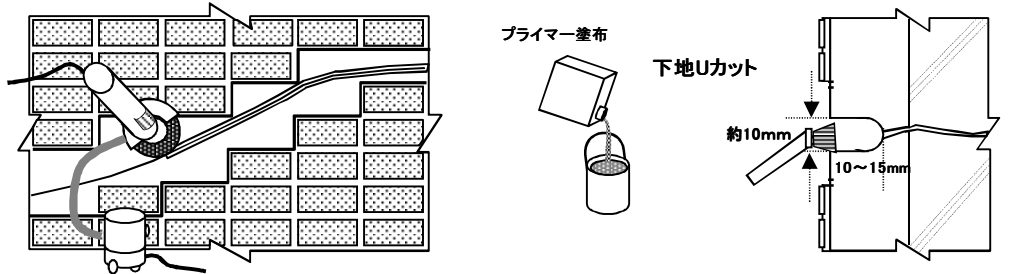
## 張替部分のタイル撤去

- ・ひび割れ部分のタイルは、健全部分との縁をダイヤモンドカッターで切込み後、チッパーで研り落とす。撤去作業は、健全部のタイルを傷つけないようにし、撤去面を平滑にする。



## Uカット一切込み

- ・Uカットは、ひび割れに沿って集塵装置付きディスクカッターでUカットする。切込形状は、Uカット専用の切削刃を使用し幅10mm深さ10~15mmのU字状にする。
- ※Uカット及び研り作業は、多量の粉塵を発生するので、必ず集塵、防塵対策を充分行う。



## 清掃・プライマー塗布

- ・Uカット溝内の切粉をワイヤーブラシ及びダスター刷毛で除去し清掃する。
- ・プライマー塗布は、刷毛でUカット溝内へ均一に塗布し、塗り残しを残さない。
- ・プライマーは、使用するシール材に適合する材質を選定する。
- ※プライマー塗布後、埃の付着や、当日シール充填ができない場合は、再塗布する。



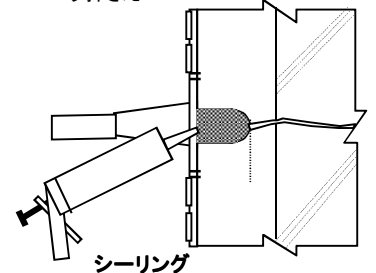
## シール準備

- ・シール材の混合は、可使時間内に使用可能量を規定の配合比で計量後、均一に混合する。
- ・シール材のコーキングガン充填は、気泡が入らない様にする。
- ・使用するシール材は、上塗剤を汚染しない材質を選定する。

ひび割れ補修適応性	製品名
挙動の大きいひび割れ	ボンドビューシール6909
挙動の少ないひび割れ	ボンドUカットONE
〃	ボンドE600

混合器

ヘラ押さえ



## シーリング材の充填

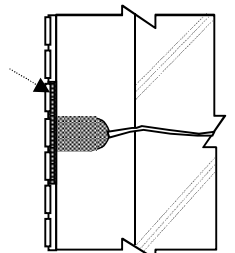
- ・シール材の充填は、Uカット溝奥から気泡が入らない様に充填し表面の指触硬化前にヘラで充分押さえ平滑にする。
- ・はみ出したシール材を除去し、シール材が硬化するまで、必要に応じて汚染、雨養生する。

## タイル復旧張り付け

- ・下地表面を清掃後、タイル貼付け接着材を櫛目コテで均一に塗布後、割付ラインに沿ってタイル陶辺を揉込むようにして圧着張りする。
- ・塗布量: 1.5~2.0kg/m<sup>2</sup>

用途別適応性	製品名	混合比
広範囲張付け用(2成分系)	ボンドEMS20	主剤1:硬化剤1
部分張付け用(1成分系)	エフレックスエフワン	1液型

接着剤



## 目地入れ仕上げ

- ・タイル張り付け接着材の硬化後、目地セメントペーストをゴムコテで目地入れて表面拭き取りを行い仕上げる。